

平成29年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊北部航空方面隊

開催日及び場所	平成29年9月20日(水) 北海道防衛局4F会議室
委 員	阿座上委員長(地域経済研究所理事長) 神谷委員(札幌医科大学客員教授) 菊地委員(北海商科大学教授) 木下委員(公認会計士) 津田委員(弁護士)

II 防衛省発注機関が締結する契約に関する審議

航空自衛隊(北海道地区1機関)

審議対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
審議対象件数	3,460件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	5件	(審議概要) ・契約状況の説明 ・対象案件より抽出された5件の概要説明と委員会による審議
一般競争	5件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 【審議案件】 「一般競争」 ①食器洗浄及び清掃作業等 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の入札状況を見ると応札者を確保しており競争性が働いているようだが、応札者確保のための努力をしているのか。 ・過去の契約金額を見ると毎年変動しているようだが、契約内容に毎年変更はあるのか。 ・26年度まで参加していた業者が27年度から参加していない業者が見受けられるが、声掛け方法が変わったのか。 ・毎年、参加業者に変動が有り良い方向だと思います。 	回答 <ul style="list-style-type: none"> ・公告の内容について、業者に声を掛けるなどして情報提供している。 ・清掃作業の面積は変動無いが、その年の行事や隊員数の変動により予定作業量が毎年違う。 ・変更はない。参加しなかった業者については業者の経営方針等が変更になったと推測している。 ・はい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・契約業者は、食器洗浄及び清掃作業等に必要な器材を持ち込む必要があるのか。 ・業者は、赤字になってまで契約実績を取りたいのか。 ・契約業者に確認したのか。 ・低落札率のため契約上問題はないのか。 <p>「一般競争」</p> <p>②車両外注整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし <p>③車両部品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札判定書を見ると1者応札ではないのか。 ・業者の割引率は、過年度と比べてどうなのか。 ・割引率が適用される基準となる価格はメーカーが公表している車両部品価格から適用されるのか。 ・車両部品を取り替える経費はどうなるのか。 ・車両部品割引率の契約と修理代に当たる車両外注整備の契約を2つに分ける手法は全国共通なのか。 <p>「一般競争」</p> <p>④防爆形バッヂコントローラー等工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食器洗浄及び清掃作業等に必要な器材は官側で用意している。 ・赤字になっても実績を取りたい業者もいるが、本契約は赤字になつていない。 ・利益を確保しているとの回答を得ている。 ・調査基準価格を下回っていないので問題ないと判断した。 <p>・車両部品について複数のメーカーを取り扱える業者もいるため一般競争入札としたが、結果として複数のメーカーを取り扱える業者は入札に参加しなかったため、1者応札となった。</p> <p>・手元に前年度の資料がないので正確に言えないが、経験上、前年度と同じくらいである。</p> <p>・そのとおり。</p> <p>・前案件の車両外注整備の契約において、作業工数に作業単価を掛けた金額により支払うことになる。</p> <p>・はい。</p>
--	---	---

	<p>「随意契約」</p> <p>⑤感知器配線等更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低い理由は何か。 ・落札業者の施工に相違点などあったのか。 ・落札業者の住所はどこか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の積算は、積算資料等で積算している。また、6者見積り合わせもしております。落札業者以外の5者は、予定価格の金額に近い応札であったので、予定価格の金額は適正なものと認識している。応札業者は新規業者だったため契約実績作りのため低価格で応札したものと推測している。 ・高所作業車を使用して作業を見積もっていたが、仮設足場を組むことにより経費低減を図っていたようだ。 ・札幌市である。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし。	